

令和4年12月定例市議会の質疑(追加提案分)

12月7日(水) 午前10時～ 質問者順

① 大眉均議員〔日本共産党〕

発言事項	内 容
質疑1 第84号議案	控訴の提起について (1) 裁判の争点と控訴する理由

令和4年12月定例市議会の質疑・一般質問

12月7日(水) 質問者順

① 岸本和也議員〔公政会〕

発言事項	内 容
一般質問1 空き家対策について	(1) 三木市の空き家の現状と課題 (2) 農地付き住宅に係る農地取得条件の緩和 (3) 空き家除去に係る土地の固定資産税減免制度 (4) 空き家改修に対するリフォーム助成 (5) 空き家活用特区制度
一般質問2 猫による衛生対策と TNR推進について	(1) 衛生面での対策 (2) 不妊去勢手術への助成 (3) 地域猫活動の推進
一般質問3 市の長期計画について	(1) 都市計画の現状 ア 市街化調整区域の土地利用促進(区域区分) イ スマートインターチェンジ ウ ひょうご情報公園都市とアクセス道路 エ (都)神戸三木線、(都)広野吉田線と志染駅前広場整備 オ (都)広野自由が丘線 カ 岩宮大村線 キ 桃坂バイパスと谷口交差点までのバイパス (2) 大型事業の展望 ア 物価高騰による今後の大型事業への影響(中央公民館等複合施設、次期ごみ処理施設) イ 中央公民館等複合施設の今後の所管課 ウ 中央公民館等複合施設への商工会議所参画による基本構想、基本計画の見直しと今後のスケジュール エ 中央公民館等複合施設における立地適正化計画の活用 オ 次期ごみ処理施設

② 穂積豊彦議員〔よつ葉の会〕

発言事項	内 容
一般質問1 三木市使用料・手数料の見直し方針について	(1) 料金算定基礎に減価償却費(原価)を含む意味と理由 (2) 利用する人・しない人の負担の公平性 設備のない公民館と、ある公民館との公平性 (3) 各公民館ごとに使用料の設定になるのか (4) 指定管理にしている体育館・駐車場等も対象になるのか
一般質問2 全国学力・学習状況調査について	(1) 今回の結果をどうとらえているのか (2) K P I 指標を令和6年とした根拠 (3) 学力向上にタブレット導入の期待値はあるのか (4) 学力向上対策委員会・学力向上プロジェクト(メンバー・回数など) (5) 体力テストの結果
一般質問3	(1) 先生独自のやり方とあるが、学習指導要領にはこだわらないのか

未来を創る学力育成 三木モデルについて	(2) 目に見える、聞こえるという具体的なことはあるのか (3) 三木モデルの確立は何年後に
<u>一般質問4</u> 学校給食について	(1) 国産小麦粉を学校給食のパンに使用すること (2) 国産小麦粉の供給は可能か (3) 国産小麦粉の使用について、令和5年度の予算に計上する考えはあるのか

令和4年12月定例市議会の質疑・一般質問

12月9日(金) 午前10時～ 質問者順

① 泉雄太議員〔よつ葉の会〕

発言事項	内 容
<p><u>一般質問1</u> 市街化調整区域の土地利用について</p>	<p>(1) 都市計画法は 50 年以上も前の法律で、時代に合わないとの指摘が出てきている中、都市計画区域の線引き解除を求める議論も活発化しているが、三木市の考え</p> <p>(2) 近年、近隣市では、農村産業法を活用した土地利用など、市街化調整区域での開発に力をいれているが、三木市では将来に向けての市街化調整区域での開発の進捗が見えないこと</p> <p>(3) 地域未来投資促進法、農村産業法を活用した三木市内の市街化調整区域内の土地利用の検討</p> <p>(4) 国道沿い、県道沿いで既に産業施設が立地している、もしくは跡地となっている箇所の土地利用</p> <p>(5) 兵庫県の空き家活用特区制度の活用による農村地域の活性化</p> <p>(6) 現状、行政として都市計画部門のマンパワーが充足しているのか。人員充実及び人材育成にかかる予算確保</p> <p>(7) 2年間で全集落の策定が義務化されているにも関わらず、人・農地プランの作成地区が少ない中、将来どのように集落を持続していくか行政が地域と一緒に考えていく必要性</p>
<p><u>一般質問2</u> 学力とSES（家庭の社会経済的背景）について</p>	<p>(1) 三木市における学力格差とSES（家庭の社会経済的背景）の把握及び現行の教育格差是正への対応</p> <p>(2) 就学援助率の高い学校の学力調査として、就学援助率と市内各学校の全国学力テスト結果クロス分析は行っているのか</p> <p>(3) 早期（小学校低学年から）に学力格差を是正する必要性</p> <p>(4) タブレットでAIを活用した学力の把握</p> <p>(5) 児童・生徒の学力データの調査分析を専門的に行う部門の設置又は、大学等の研究機関との連携</p>
<p><u>一般質問3</u> 中央公民館での公共施設再編について</p>	<p>(1) 再編について三木商工会議所も参画することが表明されたが、これまでの公共施設削減のための計画から中心市街地活性化のための複合施設への転換を図ること</p> <p>(2) 駐車場の面積不足が心配される中で、現在の会議所用地とあわせた立体駐車場の整備</p> <p>(3) 近隣市では、中心市街地活性化として社会資本整備総合交付金を活用し、非常に有利な補助率で複合施設を建設した事例がある。財源についての調査研究の状況</p>

② 内藤博史議員〔公明党〕

発言事項	内 容
<p><u>質疑1</u> 第78号議案</p>	<p>令和4年度三木市一般会計補正予算（第9号）</p> <p>(1) 債務負担行為補正 ア じん芥処理施設管理事業 36億3,000万円の積算根拠</p>

<p><u>一般質問1</u> 出産・子育て応援事業について</p>	<p>(1) 事業の目的、概要 (2) 恒久的な支援制度となるが来年度以降も同様の支援内容で継続できるのか (3) 経済的支援と伴走型相談支援の一体的な取組が必要であるが、三木市としてどのように事業を進めるのか</p>
<p><u>一般質問2</u> 健康福祉行政について</p>	<p>(1) 児童福祉法等の一部を改正する法律による市の対応 ア 包括的な支援のための体制強化等に関する事項の取組 イ 障害児通所支援に関する事項のうち、児童発達支援センターの状況 (2) 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成 (3) HPVワクチン接種 ア 今年度の接種状況 イ 9価HPVワクチンの定期接種化に伴う対応、対象者への周知 (4) 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が施行され、情報アクセスや意思疎通に関する施策を総合的に推進することが求められるが、手話施策推進方針実施プラン等の進捗状況などを踏まえ、市としての現状と課題、今後の取組 (5) 高齢者施設の防災・減災対策 ア 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金の積極的な活用に向けて、事業者のニーズ調査が必要と考えるが市の見解は イ 地域の施設利用者の安全と安心のため、必要な予算を確保し、積極的に地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金を活用すべきと考えるが市の見解は</p>
<p><u>一般質問3</u> 学校での医療や学習障害への対応について</p>	<p>(1) 学校等におけるてんかん発作時の口腔用液（ブコラム）の投与 ア 文部科学省からの事務連絡について、各学校にどのように伝達されているのか イ 学校側がブコラム投与に適切に対応できる体制整備 (2) スポーツ振興センター災害共済給付 ア 制度内容や加入状況、給付状況 イ 窓口で3割負担となり、3か月後に4割が支給されるが、学校外と同様に窓口負担が発生しない仕組みができないか (3) 発達性読み書き障害（ディスレクシア） ア ディスレクシアの疑いがある児童生徒をどの程度把握されているのか イ 早期発見の対応 ウ サポート体制</p>
<p><u>一般質問4</u> GIGAスクール構想について</p>	<p>(1) GIGAスクール運営支援において、県や他市との連携による強化 (2) 校務、教育行政のDXの現状と課題、今後の取組 (3) 国の家庭学習のための通信機器整備支援事業を活用したWi-Fiルーターの貸与状況、利用状況</p>
<p><u>一般質問5</u> 地方創生の取組について</p>	<p>(1) 新しいライフスタイルである、半農半X（えっくす）、半X（えっくす）半ITなど三木市の地域資源を活かした取組により地域の活性化につなげること</p>

<u>一般質問6</u> 交通施策について	(1) 三木市自転車ネットワーク路線の今後の整備事業計画 (2) 三木市の交通安全計画の策定及び実施状況 (3) 通学路の安全対策 ア 危険個所の点検結果とその対応状況 イ 対策が未実施の場所について、今後どのように対応するのか。また、ロードマップなどで計画的な対応を準備しているのか (4) 子どもたちのバス置き去り防止対策
--------------------------	--

③ 大眉均議員〔日本共産党〕

発 言 事 項	内 容
<u>質疑1</u> 第66号議案	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 (1) 定年延長に伴う給与水準
<u>質疑2</u> 第68号議案	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定 (1) 職員の定年を65歳まで引き上げによる若い世代の採用、職員の年齢構成への影響
<u>質疑3</u> 第78号議案	令和4年度三木市一般会計補正予算（第9号） (1) 債務負担行為補正 ア じん芥処理施設管理事業 限度額36億3,000万円
<u>一般質問1</u> さんさんギャラリー オアシスについて	(1) さんさんギャラリーオアシスの設置目的とこれまで果たしてきた効果 (2) さんさんギャラリーオアシスを廃止するとした理由 (3) 廃止にいたる検討と関係者への説明
<u>一般質問2</u> 学校給食について	(1) 今年度学校給食費の2学期、3学期を無償にされたが、来年度以降の給食費の無償化 (2) 給食材料費の高騰 (3) 給食材料に地元産を使用すること
<u>一般質問3</u> 子どもの医療費助成 について	(1) 子ども福祉医療は今年7月から高校生まで入院が無償化になりましたが、通院も無償化すること ア 7月からの対象となった人数、金額 イ 通院も対象とするための必要額 (2) 子ども福祉医療費の国・県の負担
<u>一般質問4</u> 市営住宅について	市営住宅の入居申込に連帯保証人を求めること

令和4年12月定例市議会の質疑・一般質問

12月12日(月) 午前10時～ 質問者順

① 板東聖悟議員〔日本共産党〕

発言事項	内 容
<u>質疑1</u> 第75号議案	指定管理者の指定について (1) 神姫SFMパートナーズに決まった理由 (2) これまでの運用と異なる点 (3) スケートボードパークに対する提案
<u>質疑2</u> 第78号議案	令和4年度三木市一般会計補正予算（第9号） (1) 先端技術を有する事業者誘致事業補助金 ア 寄附金 イ 認定事業者 ウ 雇用の確保
<u>一般質問1</u> ひとり親世帯への住宅支援	(1) ひとり親世帯の実態 ア 世帯数、父子・母子・その他の内訳 イ 死別、離別、未婚の割合 (2) 転居時の支援の内容と実績 ア 母子父子寡婦福祉資金貸付制度 イ 公営住宅のひとり親世帯優先入居制度 ウ セーフティネット登録住宅制度 エ その他の施策
<u>一般質問2</u> 財政健全化計画	(1) 収支不足16億円の根拠 (2) 令和8年度の9億の収支不足の対応 (3) ゴルフのまち三木を推進する予算の聖域化 (4) 市民の声を聞く対応の不足 (5) 市民の家計への影響 (6) 収支不足16億円の解消と誇りをもって暮らせるまち三木の両立

② 新井謙次議員〔志公〕

発言事項	内 容
<u>質疑1</u> 第78号議案	令和4年度三木市一般会計補正予算（第9号） (1) 企業版ふるさと納税を活用した地域課題解決のための先端技術を有する事業者の誘致事業 事業費2,000万円 ア 事業内容 イ 企業版ふるさと納税を活用する理由 ウ 応募事業者の概要、提案された対策等 エ 事業者決定に至った経緯と決定理由 オ 企業版ふるさと納税をする事業者のメリット
<u>一般質問1</u> 国指定史跡三木城跡及び二の丸跡を観光拠点としての景観整備と有効活用について	(1) 国指定史跡三木城跡及び二の丸跡を観光拠点としての景観整備と有効活用 (2) 旧上の丸庁舎跡地の美観の確保と安全対策としてバリケード等で周囲を囲うこと (3) 三木城跡を中心とした観光拠点としての有効活用

て	
一般質問2 将来的に飼い主のいない猫を無くしていく活動について	(1) 市民から猫に対する苦情 (2) 県動物愛護センター三木支所との連携 (3) 猫に関する意見交換会の内容
一般質問3 緑が丘さんさんギャラリーオアシスの閉鎖について	(1) 閉鎖する理由 (2) 過去5年間の出展者数、来館者数 (3) 地元の住民、地元の運営関係者、市民の皆さんへの説明方法 (4) 閉鎖後の対応と期待する効果 (5) 今後のスケジュール
一般質問4 ヤングケアラー対策について	(1) 現在の市内ヤングケアラーの把握人数とその実態 (2) 国・県が行うヤングケアラー支援体制強化事業 (3) 認知度の向上と実態把握のため、直接、子ども達へのアンケート調査を実施すること (4) 今後、予想される国、県からの支援対策

③ 古田寛明議員〔走政クラブ〕

発言事項	内 容
質疑1 第66号議案	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 (1) 定年延長後の昇給 (2) 諸手当の支給額 (3) 暫定再任用職員の給与
質疑2 第68号議案	職員の定年等に関する条例の一部改正 (1) 役職定年制の導入趣旨 (2) 役職定年制による降任等の例外措置 (3) 定年前再任用短時間勤務職員と定数 (4) 情報提供・意思確認の新設
質疑3 第75号議案	指定管理者の指定（有料スポーツ施設） (1) 今回の指定管理者の選考経過・選考基準等 (2) 新たな指定管理者に決定した主な理由 (3) 指定管理者の変更による市民への影響 (4) スタッフの継続雇用
一般質問1 学校教育施設の改善について	(1) 校舎の大規模改修の予定（施設の長寿命化） (2) 三木市公共施設再配置計画との関連 (3) 校舎等の雨漏り対応 (4) トイレの洋式化のさらなる推進と悪臭対策 (5) 避難所となる体育館の整備 (6) プールの改修（水漏れ、プールサイドの熱対策） (7) バリアフリー化に関する整備計画の策定
一般質問2 休日部活動の地域移行について	(1) 市内中学校の部活動の現状（部活数の増減等） (2) 外部人材の中学校部活動への配置状況 (3) 地域移行へ向けた三木市の取組内容 (4) 中学生が参加できるクラブチームの実態 (5) 保護者負担増に伴う対応 (6) 学校の負担がない学校施設利用の調整

	(7) 教員の兼職兼業による指導
--	------------------